

# 県条例記入例

※ 本届出書は、正本にその写しを一部添えて提出してください。

別記様式第5号（第10条関係）

※ 該当する部分を○で囲むか、該当しない部分を2本線で消してください（この例は、騒音と振動の届出をしている場合です）。

特定施設の種類	<del>ばい煙、粉じん、汚水</del> 騒音、振動、 <del>悪臭</del>
---------	---

使用廃止届出書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

※ 条例第10条の規定により「使用を廃止したとき」は「その日から30日以内」に届け出ることとなっています。

大田原市長 ○〇 ○〇 様

届出者住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
〒100-0000

東京都千代田区〇〇〇

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

〇〇工業株式会社

取締役社長 東京太郎

《届出代理人が届け出をする場合の記入方法》

届出者住所 〒100-0000

東京都千代田区〇〇〇

氏名 〇〇工業株式会社

取締役社長 東京太郎

届出代理人住所 〒324-0041

大田原市本町〇〇〇

氏名 〇〇工業株式会社大田原工場

工場長 大田原次郎

※ この場合、既に提出済みの場合を除き、「届出者」から「届出代理人」への事務の委任を記入した書面（委任状）の提出が必要となります。

特定施設の使用を廃止したので、栃木県生活環境の保全等に関する条例

第10条

第28条において準用する第10条の規定により、次のとおり届け出ます。

※ 当該工場等に設置されている特定施設の全てを、今後一切使用しない場合又は撤去する場合の届出です。工場の一時休業等に伴う特定施設の使用休止などの場合は、「使用全廃」とはなりません。

工場又は事業場の名称	〇〇工業株式会社大田原工場 (電話番号 (0287) 〇〇-〇〇〇〇)		
工場又は事業場の所在地	大田原市本町〇〇〇 (郵便番号 324-0041)		
工場若しくは事業場の業種又は特定施設の種類	1 金属加工機械 オ 機械プレス 2 空気圧縮機		
使用廃止の理由	工場閉鎖		
使用廃止の年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	※整理番号	
※受理年月日	年 月 日	※備考	

備考

1 ※印の欄には、記載しないこと。